

～夏休みにしてほしいこと～

3年生

- 1 進路研究→何を学ぶのか!自分の判断基準を決め「自分の軸」を決定
- 2 志望校決定 = 志望理由の決定 (第2・3志望まで)

いよいよ夏休みがやってきます。7月下旬あたりから三者面談等で今後のことについて担任と話をすることになるかと思います。勉強をすることはもちろんのこと、自分の今後の方向性をしっかりと考える期間にしてほしいと思います。

昨年度の文部科学省による調査では、全国の国公私立大学(短期大学を含む)及び高等専門学校の中退者は、**約0.97%**だったそうです。大学等の回答率は95.3%(2/10時点)であり、内訳としては経済的困窮19.3%、学校生活不適応・修学意欲低下18.3%、就職・起業14.1%です。大学や専門学校のパンフレットに「就職内定率100%」と書いてあるのをよく見ますが、そこには退学した生徒の数は含まれていません。

また、少子化の現代、学費さえ納入すれば入学できる学校も少なくはありません。しかし、簡単に入学できた学校を、簡単にやめてしまう学生が多いのも事実です。莫大な**費用とエネルギー**をかけて進学するのです。こんなはずではなかったと後悔することがないように、自分の時間があるこの夏に自分の将来について調べ覚悟を決め、「**自分の軸**」を定めましょう。

◎ オープンキャンパスについて

→ COVID-19(コロナ)の影響もあり、オンライン開催が多くなっています。Webページで各自確認をし、手続きをして参加するようにしてください。

◎ 職場見学について→ 就職担当の先生方と相談の上、可能であれば参加してください。

オープンキャンパスや職場見学等に参加する際は、**所定の手続き(旅行届など)**を確実に行ってください。

1・2年生

学習へのモチベーションを上げるために→幅広い進路研究をしよう。

進路実現のためには、日々の学習をしっかりとすることが、まず大切です。学習の当事者意識を高め、計画的にもって取り組むことができるようになるためには、1、2年生は進路選択の視野を広げることが重要なポイントとなります。

1年生は、がじゅまるの時間に自己について知り、進路学習をしてきました。この夏休みは、自分で高校卒業後どうしたいのか考え職業をいろいろと調べたり、学校について調べたりしてみましょう。

2年生は、来年はいよいよ受験生となります。具体的に、自分の方向性が決まっている人は、自分の目標となる学校をいくつか調べ、**それぞれの共通点や相違点を比較、検討**しましょう。ミスマッチによって留年や退学をしたり、早期退職したりしないよう、早い時期から**幅広く進路研究**をしてください。説明会や、オープンキャンパスは日程的に可能であれば、複数の学校、複数の学部学科に参加し、**比較、検討**するとよいでしょう。また、難関と言われる学校については、必ずしも希望する学部・学科に合格するとは限りません。A学部とB学部を比較検討して、A学部だけに絞らねばならないのであれば、進学する地域を広く考える必要もあるでしょう。

また一方で、A学部とB学部を**比較、検討**して、「最終的にA学部合格したら、このような未来にしたい、B学部合格したらこのような未来にしたい」と複数のビジョンを持っておくという考え方もあります。特に進学する地域が限定されている人は、このような**幅広い進路研究**が必要です。